

発行 豊頃町
〒089 - 5392
中川郡豊頃町茂岩本町 125 番地
☎ 015 (574) 2216
発行日 2018 年 10 月 1 日
編集 豊頃町企画課広報情報係
豊頃町社会福祉協議会



今月の表紙

今月の表紙は中学校で行われた和心ブラザーズによるアウトリーチの様子です。初めてさわる三味線に、おそろおそろ音を出していましたが、次第に大きな音がでると驚きつつも笑顔になった子どもたち。和楽器に親しんだひと時でした。

役場などの連絡先

- ◆役 場
☎ (574) 2211 (代表)・FAX (574) 3750 (総務課)
- ◆各課等 (ダイヤルイン)
総 務 課☎ (574) 2211
出 納 室☎ (574) 2212
住 民 課☎ (574) 2213
福 祉 課☎ (574) 2214
施 設 課☎ (574) 2215
企 画 課☎ (574) 2216
産 業 課☎ (574) 2217
商工観光課☎ (578) 7202
農業委員会☎ (574) 2218
議会事務局☎ (574) 2222
教育委員会 (教育課)☎ (579) 5801
(図書館)☎ (579) 5802
- ◆支所・出先機関・町内関係機関
大津支所☎ (575) 2021
こどもプラザとよころ☎ (574) 3931
保健センター☎ (574) 3141
給食センター☎ (574) 4600
社会福祉協議会☎ (574) 3143
ココロコテラス☎ (578) 7202
- ◆地域情報通信基盤施設の故障受付窓口
NTT 東日本データセンタ ☎ 0120 (860) 023
〔24 時間 365 日受付〕

ホームページ

豊頃町 <http://www.toyokoro.jp/>
豊頃町社会福祉協議会 <http://toyokoro-shakyo.com/>

豊頃町の人口と世帯

8 月 31 日現在 (前月比)
住民基本台帳に基づく
人口 3,193 人(ー 2)
男 1,534 人(ー 1)
女 1,659 人(ー 1)
世帯 1,487 世帯(ー 2)

町内の交通事故

平成 30 年 1 月 1 日
～ 9 月 10 日 (前年比)
交通事故死ゼロ 1,163 日
発生 2 件(ー 1)
死者 0 人(0)
傷者 3 人(0)

目次

CONTENTS

02 クローズアップ人
ArtLabo 北舟 /NorthernArk 白濱雅也・万亀

広報とよころ

- 04 特集 財政状況の公表
「健全化判断比率および資金不足比率を公表します」
- 06 後期高齢者医療制度のお知らせ
- 07 国民年金からのお知らせ
- 08 インフルエンザ予防接種のご案内
- 09 健康だより「フレイルを知っていますか？」
- 10 はるにれは見ていた「とよころ産業まつり」ほか
- 15 Toyokoro Letter
駐在だより「みんなで築こう安全 で安心な大地」ほか
- 16 姉妹都市相馬市への子ども親善使節団派遣事業報告
- 18 みんなの図書館「にゃんとも癒されるネコ展の開催!」ほか
- 20 Let's ジョシュの英語 - 中退共のお知らせ
- 21 『報徳のおしえ』とともに
- 22 町民文芸 - 我が家のアイドル

社協だより

23 赤い羽根共同募金

役場だより

25 INFORMATION ◎目次あり
主な施設の行事予定 ほか

裏 とよころカレンダー

告知 はるにれ寄席「春風亭一之輔・柳家花緑」



ArtLabo 北舟 / NorthernArk

白濱 雅也・万亀

Profile しらはま まさや・まき

ギャラリー「ArtLabo 北舟」を運営。
「芸術創造の進行形を発信する北の実験船であり、
アートと共に静かなひと時を楽しむ場をめざします。」
(ギャラリー紹介より引用)

近すぎない距離が心地よい

十弗の奥の高台にある「Art Labo 北舟(きたぶね) / Northern Ark」。
以前、雅也さんはギャラリーを、万亀さんはカフェギャラリーを東京で運営していました。東京では人がとても近く、周囲に常に気を遣う生活に息苦しさを感じていたお二人が北海道で生活しようと帯広へ移住したのが2014年。そして2016年に豊頃町へ移住し、今年の7月で豊頃での生活は丸2年を迎えました。去る8月25日から9月16日まで開催していた「何を描いているんですか? 風景?」風景画の現在進行形」と題した展示会では、本州で活躍している作家5名と、作家でもある雅也さんを含めた計6名の作品が飾られました。
昔懐かしい家をギャラリーとして開放しており、玄関をくぐるとすぐ目に入る作品は、抽象画ともとれる風景画でした。ダイレクターでもある雅也さんから作品ごとに丁寧な説明を受け、多くの人がイメージする風景画とはまた違った現代的な手法の取られた作品の数々を見ることができました。

新しい視点から見る景色

ギャラリーの隣には住居があり、お話をうかがうためにリビングに通してもらって驚いたのが原色の壁の色。色とりどりの壁には様々な絵画やオブジェが飾

られていました。

「賃貸ではどうしてもできなかったけれど、ずっとやりたくて」と、万亀さんは続けて「絵を飾るのに白い壁じゃなきゃダメと考える人も多いけれど、こうして色のある壁にも絵は映えるんですよ。型通りでなくても問題がないこと、調和がとれることを見てほしいと話しました。

お二人は豊頃町に住んで心地よいのは、個人が自立しているからこそ生まれるちようどよい距離感や、懐の深さだと笑顔を見せました。
「傍から見ると何をやっているんだろうと思うかもしれませんが、私たちのやっていることを面白がって受け入れてくれることが嬉しい」と町の印象について話され、今後はギャラリーを通し、ゆるく、芸術を楽しめる場を作っていきたいと望んでいます。

白濱夫婦によって、豊頃町に素敵なギャラリーが新たに加わりました。



今後の展示会の情報は
Facebook で▶

